

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	生産システム工学特論第二		
英文授業科目名	Advanced Topics in Manufacturing Systems Engineering 2		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	由良 憲二		
居室	西5-501		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yura@se.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題：環境配慮型生産システムを題材として取り上げ、生産システムの設計・運用に関する分析力を育成することを目的とする。</p> <p>(b) 達成目標：題材に対して、問題発見、問題定式化、解法探索、解法評価という一連の手続を実行する能力を身に付ける。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
「なし」

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
「なし」

【教科書等】
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布して授業を進める。

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

環境配慮型生産システムの設計・運用に関する課題とその解決策について検討する。

【第1回】教員側から課題の説明

【第2回～4回】問題発見について議論

【第5回～8回】問題定式化について議論

【第9回～11回】解法探索について議論

【第12回～15回】解法の優劣について議論

(b) 授業の進め方：

環境配慮型生産システムに関する資料を配布して、それを題材に生産システムに関する研究方法について議論する。

(c) 授業時間外の学習：

授業中に設定した課題について、調査分析を行い解決策を考える。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：授業中の発表内容を20点満点、レポートを80点満点として、合計点で評価する。レポートは形式が整っているか、論理的文章がかけているか、新規性があるか、誤りはないかという4つの観点から、採点する。

(b) 評価基準：合計点80点以上を「優」、70点以上80点未満を「良」、60点以上70点未満を「可」、60点未満を「不可」とする。

【オフィスアワー：授業相談】

会議日程の決定後に時間を指定する。それまでは適宜相談に応じるが、事前にメールにてアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

環境配慮型生産システムについて興味のある方がいましたら出席して下さい。環境配慮型生産システムのあるべき姿について考えてみましょう。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】
「なし」